

福島工業株式会社

証券コード:6420

BONNE!

株主・投資家の皆さんへ

第68期中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日

Fukushima

フレッシュ・バリューをあなたとともに



トップメッセージ

企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第68期(平成31年3月期)中間の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。

株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 福島 裕



一上半期の業績について

まずは、今夏の度重なる震災により被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の皆様方の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、政府の経済及び金融政策により企業収益や雇用環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方、原材料費や人件費の上昇によるコスト高により景気回復の持続力に陰りが見られる等、先行き不透明な状況で推移しました。

当企業集団を取り巻く環境といましましては、外食産業では、消費者の節約志向は根強いものの、価格改定や季節メニューの訴求等による客単価の上昇で、ファーストフードやファミリーレストラン業態で売上が堅調に推移しました。流通業界では、全国的な猛暑により、コンビニエンスストアで飲料やアイスクリーム等の夏物商材の売上が伸長し、スーパー・マーケットにおいても食料品の売り上げは堅調に推移いたしました。

そのような経済環境の中、冷凍冷蔵庫販売では、ラインナップ拡充により発売した新型製氷機の販売が伸びたものの、コンビニエンスストア向けの汎用冷凍冷蔵庫の売上が減少したことから、冷凍冷蔵庫販売の売上高は前年比4.7%減となりました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、スーパーマーケットの新規出店減少及びコンビニエンスストア統合による改装需要が減少したものの、ドラッグストアの新規出店が引き続き旺盛だった事から前年比2.6%増となりました。

大型食品加工機械販売では、食品メーカーを中心 にトンネルフリーザーの入れ替えや新規導入により売上高は前年比9.4%増となりました。

大型パネル冷蔵設備販売では、低温物流センター や食品工場向けの大型案件が引き続き好調であつた事から売上高は前年比16.2%増となりました。

小型パネル冷蔵設備販売では、コンビニエンスストアのパックヤード向けの受注が減少した事から売上高は前年比1.6%減となりました。

サービス販売では、夏季の猛暑によりメンテナンス需要が伸びた事や、コンビニエンスストアなどの保守契約が増加した事などにより売上高は前年比8.0%増となりました。

以上の事から、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比2.9%の増収、営業利益は前年同四半期比9.4%の増益、経常利益は前年同四半期比10.4%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比30.9%の増益となりました。

一下期へ向けて

2年後の東京オリンピック・パラリンピックの開催へ向けて、ますますインフラ設備への需要が本格化することと思われます。また、少子高齢化による漫然な人手不足が様々な業態に幅広く影響を及ぼしている事から、様々な「モノ」のAI化や省人化が進むことと予想されます。

当企業集団を取り巻く環境においては、食品の衛生管理プロセスの義務化によりお客様の食品への安全性に対する関心は高まっており、プラスチラーをはじめとした食品衛生管理にお役立ちできる当社の製品やシステムによりお客様のご要望にお応えしてまいります。また、食品工場やプロセスセンターといった大型案件への設備投資が増加していることから、大型パネル冷蔵設備やトンネルフリーザーなどの大型食品加工機械の販売拡大に取り組んでまいります。

今後も当社の技術力を更に発展させ、冷凍冷蔵庫や冷凍冷蔵ショーケースといった製品を通じ、生活者様の食の安全・安心をお届けし、社会に貢献してまいります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第68期中間連結決算 (単位:百万円)

売上高

42,659 前年同四半期比
2.9%増

第66期中間	37,619
第67期中間	41,470
第68期中間	42,659

営業利益

4,664 前年同四半期比
9.4%増

第66期中間	4,003
第67期中間	4,264
第68期中間	4,664

経常利益

4,980 前年同四半期比
10.4%増

第66期中間	3,933
第67期中間	4,513
第68期中間	4,980

親会社株主に帰属する四半期純利益

3,377 前年同四半期比
30.9%増

第66期中間	2,625
第67期中間	2,580
第68期中間	3,377

『食』のインフラを 守るということは 私たちにしかできない 使命だと考えます



記録的な豪雨や猛暑、そして地震 自然災害が連続した今年の夏

今夏は、自然災害が多発し、各地で甚大な被害が生じました。被災された方には、心よりお見舞い申し上げますとともに、まだ復旧されていない皆様には1日も早い復旧をお祈り申し

大阪北部地震 2018年6月18日(午前7:58)



大阪府北部でマグニチュード6.1の地震が発生。通勤時間帯と重なり近畿圏の交通網が麻痺したため、多くの方が帰宅困難者となりました。

関西サービスセンターでは、毎朝のミーティングで災害の受付件数や対応状況を確認し、総務部と共にしました。

平成30年7月豪雨 2018年6月28日～7月8日



↑押し寄せた濁流で浮き上がり倒されてしまったショーケース

台風7号および梅雨前線などの影響による集中豪雨が発生。西日本を中心に河川の氾濫や浸水、土砂災害が発生しました。

特に被害が大きかった岡山の真備エリアには、関西サービスセンターや福岡の営業所からも応援を派遣しました。



濁流が押し寄せた店内

企業理念にも通じる精神です。その精神があったからこそ、担当エリアを越えて皆で助け合うことができ、サービス・営業・工場・管理部門が一丸となりチームフクシマでお客様と向き合えたのだと思います。



散乱した店内

日々のメンテナンスだけでなく災害時に迅速にサポートできるメーカーを目指して 災害対応を通じて、電気・水・ガスと同様に『食』のインフラの重要性を改めて痛感しました。冷蔵庫が使えなければ食品が傷んでしまい、お客様もご商売ができなくなってしまいます。業務用冷凍冷蔵庫・ショーケースを納品しているメーカーとしましては、日々のメンテナンスはもちろん、災害時にいち早く復旧作業を行うことで、お客様に安心してご使用していただける製品をお届けしたいと思います。

日々のメンテナンスだけでなく 災害時に迅速にサポートできる メーカーを目指して

これからも『食』のインフラを守るという使命感と責任感を持って、チームフクシマで一丸となって対応して参ります。



台風21号 2018年9月4日



台風が25年ぶりに「非常に強い」勢力で日本に上陸、近畿地方を中心に高潮による被害や長期間に及ぶ停電が発生しました。

災害対応の件数は118件(9/14時点)。関西広域で長期間停電が発生し、漏電や基盤関係の不具合が多数発生しました。

北海道胆振東部地震 2018年9月6日(午前3:07)



北海道胆振東部でマグニチュード6.7の地震が発生。北海道全域が停電となる「ブラックアウト」が引き起こされました。

関東サービスセンターで応援チームを編成。茨城県からフェリーで北海道に入り、復旧作業に当たりました。

おいしいもので地域の食卓を豊かにする

「シェフカワカミ池田店」様の リニューアルオープンをサポート

地域密着型スーパーとして、大阪府内に5店舗展開されているシェフカワカミ様。フクシマでは、5店舗全てのショーケース・厨房機器の施工を担当しており、池田店様のリニューアルもサポートさせていただきました。売場にも厨房にも、こだわりが詰まった店舗となっています。今回は、新製品「CLAIR Send-you」の初導入店舗となったシェフカワカミ池田店様の導入事例をご紹介いたします。



フクシマならではの高い技術力を活かし
ショーケースと厨房をトータルで提案・施工



新製品「CLAIR Send-you」を初導入 よりオシャレで清掃性の高い店舗へ

今年2月に開催された展示会で、新型ショーケース「CLAIR Send-you」を展示。その際、シェフカワカミの川上社長にお越しいただき、池田店にぜひ導入したいとのご要望をいただき受注につながりました。モデルチェンジした「CLAIR Send-you」は、多彩な売場に馴染むシンプルなデザインで、陳列した商品が生き生きと映える、清掃性に優れたショーケースです。今回は、茶色を納品しましたが、色味はお客様にお選びいただけます。改装後の売場は、今までとは違ったよりオシャレな雰囲気になりました。「CLAIR Send-you」は、どんな内装にもマッチングしやすいということを、実店舗に納品して改めて実感しました。

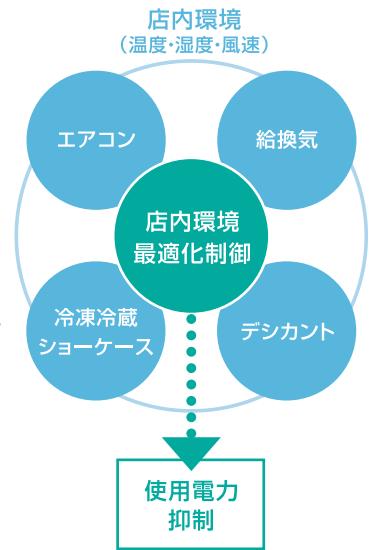
厨房を一から提案し、惣菜を強化
お客様のご要望を満たす店内に
今回のリニューアルでは、惣菜部門を更に強化するため厨房を一からご提案。お客様にご納得いただくまで通い続けました。新しい厨房は、対面式にすることでライブ感・シズル感を演出。お客様からは「短期間で対応してくれてありがとう」とお褒めの言葉をいただきました。
本案件での受注件数は、売場ショーケース37台、厨房機器13台の合計50台となりました。受注から納品まで約2ヶ月とタイトなスケジュールでしたが、工場としっかりと連携し無事に納品。今回、売場ショーケース及びバックヤード厨房一式の受注案件を経験したこと、フクシマの高い技術力を実感しました。ここで得た現場での経験や知識を活かして、他のお客様にも積極的に提案を行いたいと思います。



トピックス～NEWS～

新事業 二酸化炭素の排出削減を目指す エルツー テック L2-Tech実証事業をスタート。

L2-Techとは、
先進的(Leading)な低炭素技術(Low-carbon Technology)のことです。
環境省が普及促進を進めています。
フクシマでは、株式会社トライアルカンパニー様と店内環境最適化の実証事業を開始。
AI技術を活用した未来予測近似モデルによる店内環境最適化ロジックを搭載した
エネルギー・マネジメントシステム「F's eye」により、
従来店舗に比べ夏場で2割以上の省エネ効果があることを実証で確認しました。
冬場の省エネ効果も含め1年間のトータルの効果を検証した後、
食品スーパーの新しい省エネ手法として横展開を図っていく予定です。



新製品 工事不要で取り付け簡単。 FEクリーン水 簡易設置コンパクト型が新発売!

除菌・殺菌が簡単にできるFEクリーン水の簡易設置型が登場。水道の蛇口に取り付けるタイプで、お客様ご自身で簡単に接続いただけます。配管工事不要のため、工事費用もかかりません。塩素臭や人体への刺激が少ない、環境に優しい殺菌水です。



新製品 解凍温度をコントロールし 高品質&短時間で解凍。 新型ステップ運転機能付 解凍庫が登場!

食材の品質劣化が発生しない温度まで高温度解凍を行い、表面温度が上昇した時点で低温度解凍に切替えることで、高品質&短時間での解凍を実現。庫内は丸洗い可能・庫内乾燥機能付きで衛生的です。飲食店、食品工場、給食センターなどにおすすめです。



展示会 第1回フードストアソリューションズフェア2018で、「CLAIR Send-you」を関西初披露!

2018年9月20日(木)～21日(金) インテックス大阪

地域食品企業と小売業の問題解決を目指すフードストアのための展示会。
第1回目となる今回フクシマは、
視覚的な美しさと高い清掃性を兼ね備えた新デザインのショーケース
「CLAIR Send-you」を関西で初披露しました。
また、お惣菜の計画生産に最適な「自動洗浄機能付きプラストチラー」を紹介。
ブースには、多くの方にお越しいただきました。



展示会 大量調理に関する専門展示会 フードシステムソリューション 2018に出展しました。

2018年9月26日(水)～28日(金) 東京ビッグサイト

大量調理・給食市場にフォーカスした
専門展。フクシマは、人手不足に対応
するための「自動洗浄機能付きプラ
ストチラー」や「とろみサーバー」の
展示や、HACCP運用をサポート
する製品の紹介などを行いました。



展示会 「食の技術」の総合展示会 FOOMA JAPAN 2018 国際食品工業展に出展

2018年6月12日(火)～15日(金) 東京ビッグサイト

アジア最大級「食の技術」の総合トレードショー。フクシマは、
省人化のご提案から高橋工業のトンネルフリーザー®について
のプレゼンなど、フクシマ
グループの魅力が詰まった
展示を行いました。

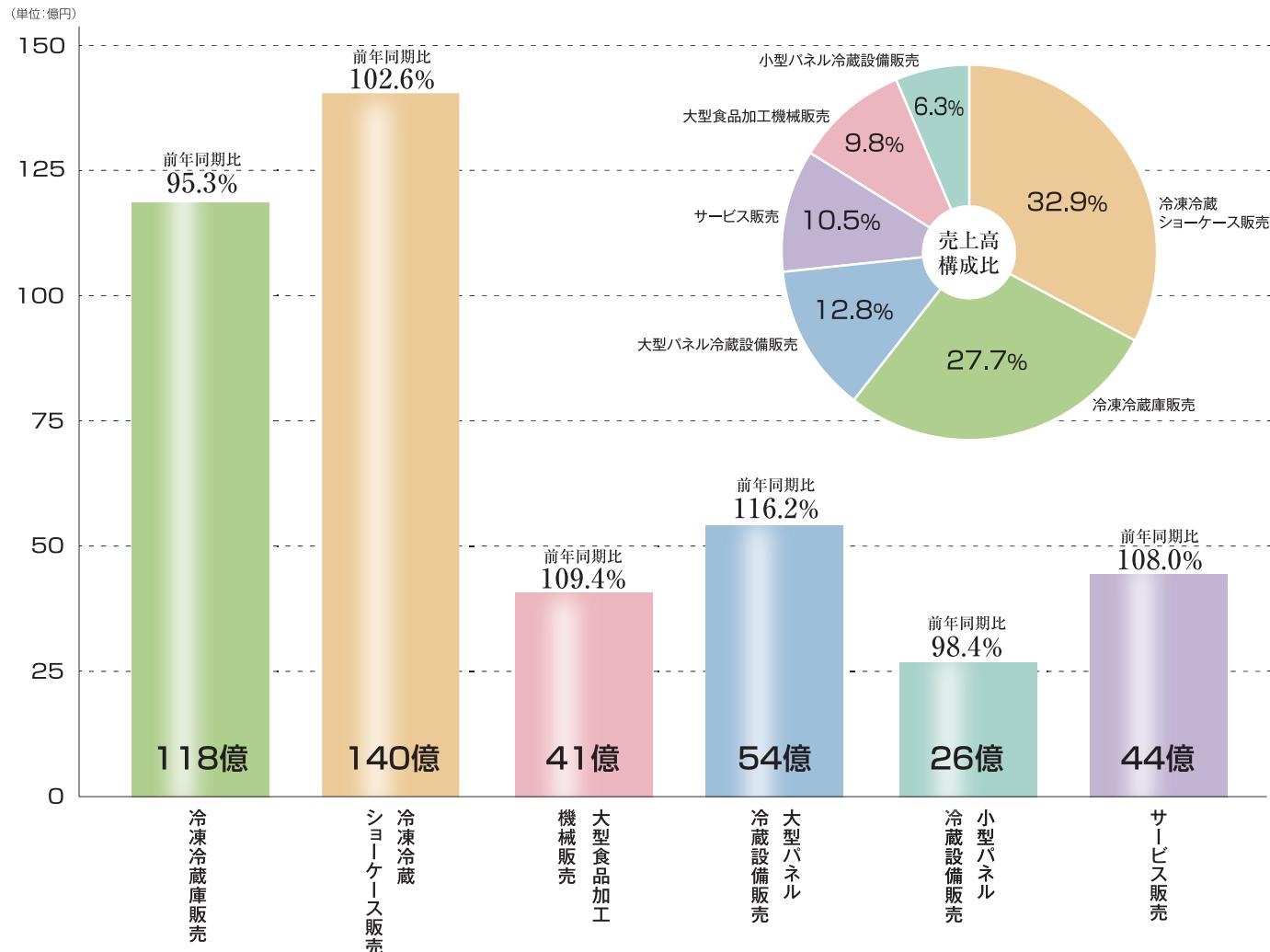


フクシマ実業団女子テニス部が 全国実業団大会に出場!

昨年創部した女子テニス部は、2年目で
念願の全国実業団大会に出場しました。
選手一同、さらに上の日本リーグを目指
してがんばりますので、引き続き応援
よろしくお願ひいたします。



事業別売上高



- 汎用業務用冷凍冷蔵庫
- 製氷機
- 玄米保冷庫
- メディカル機器
- プラストチラー
- 厨房設備工事

- オープンショーケース
- リーチインショーケース
- RO水機器
- ショーケース設備工事

- トンネルフリーザー
- 食品工場の自動化設備

- 大型パネル設備工事
- 大型プレハブパネル

- 小型パネル設備工事
- 小型プレハブパネル

- 冷凍冷蔵庫
- 冷凍冷蔵ショーケース
- トンネルフリーザーのメンテナンス

連結財務諸表

連結貸借対照表

	(前連結会計年度 (2018年3月31日現在)	(当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	59,972,918	59,728,741
固定資産	23,704,367	24,544,798
有形固定資産	11,965,765	12,497,209
無形固定資産	273,105	350,960
投資その他の資産	11,465,496	11,696,628
資産合計	83,677,286	84,273,540
負債の部		
流動負債	32,701,738	31,058,569
固定負債	2,074,439	1,944,192
負債合計	34,776,178	33,002,762
純資産の部		
株主資本	43,957,968	46,532,930
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	3,168,379	3,168,379
利益剰余金	41,242,790	43,818,471
自己株式	△3,213,394	△3,214,112
その他の包括利益累計額	4,910,509	4,710,497
その他有価証券評価差額金	4,870,266	4,691,158
為替換算調整勘定	65,057	31,746
退職給付に係る調整累計額	△24,814	△12,407
非支配株主持分	32,630	27,349
純資産合計	48,901,107	51,270,777
負債純資産合計	83,677,286	84,273,540

↑Point.1

Point.1

受取手形及び売掛金が減少したことによる流動資産の2億4千4百万円減少と、土地並びに投資その他の資産「その他」に含まれる長期預金が増加したことによる固定資産の5億3千百万円増加により、資産合計5億9千6百万円の増加となりました。

Point.2

低温物流センターや食品工場向けの大型案件が好調であったこと、及び食品メーカーを中心にトンネルフリーザーの販売が伸長したことなどにより、昨年同時期に比べ11億8千9百万円の増加となりました。

連結損益計算書

	(前第2四半期 連結累計期間 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	(当第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	41,470,467	42,659,793
売上原価	30,751,808	31,378,131
売上総利益	10,718,659	11,281,662
販売費及び一般管理費	6,453,919	6,616,886
営業利益	4,264,739	4,664,775
営業外収益	280,680	347,875
営業外費用	32,418	32,483
経常利益	4,513,000	4,980,167
税金等調整前四半期純利益	4,077,852	4,980,167
法人税、住民税及び事業税	1,653,282	1,689,627
法人税等調整額	△148,229	△74,994
法人税等合計	1,505,052	1,614,632
非支配株主に帰属する四半期純損失	△7,761	△11,615
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,580,560	3,377,150

(単位:千円)

↑Point.2

連結キャッシュ・フロー計算書

	(前第2四半期 連結累計期間 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	(当第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,538,803	3,028,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,031	△1,625,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	△830,203	△1,193,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,325	54,355
現金及び現金同等物の増減額	3,495,242	263,920
現金及び現金同等物の期首残高	24,910,742	31,481,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,405,984	31,745,334

(単位:千円)

↑Point.3

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Point.3

税金等調整前四半期純利益を49億8千万円計上し、主に投資活動及び財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ2億6千3百万円増加し、317億4千5百万円となりました。

Information

会社概要

商 号	福島工業株式会社
本 社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11
設 立	昭和26年12月8日
資 本 金	27億6千万円
従業員数	連結:1,834名 単体:1,392名 (準社員除く) 2018年3月現在

役員

代表取締役社長	福島 裕	取 締 役	藤川 隆夫
取締役副社長	福島 亮	取 締 役	吉年 慶一
専務取締役	福島 豪	監 査 役	竹内 博史
常務取締役	片山 充	監 査 役	濱 政夫
常務取締役	長尾 健二	監 査 役	西井 弘明
取 締 役	水谷 浩三		
取 締 役	日野 達雄		

ネットワーク

支 社	東日本(東京)、中部(名古屋)、西日本(福岡)
支 店	北海道(札幌)、東北(仙台)、北関東(さいたま)、東関東(千葉)、横浜、信越(新潟)、静甲(静岡)、北陸(金沢)、関西(大阪)、京都、南大阪、神戸、岡山、広島、四国(高松)、東九州(大分)、西南九州(長崎)、沖縄
営 業 所	旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、水沢、宇都宮、高崎、水戸、つくば、船橋、西東京、長野、松本、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、富山、福井、滋賀、福知山、奈良、和歌山、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、宮崎、延岡、都城、佐世保、熊本、鹿児島、石垣、宮古島
サービスセンター	関東(西船橋)、関西(大阪)
サービスステーション	釧路、南東京、厚木
工 場	滋賀(水口)、岡山
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ミャンマー 海外工場:北京合弁工場、タイ工場

株式のご案内

決 算 日	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬に開催
配 当 金 受 領	3月31日
株 主 確 定 日	なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
公 告 掲 載 方 法	当社の公告はホームページ http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。
福島工業のホームページを、ぜひご覧ください!

<http://www.fukusima.co.jp/>

